

## 「栄養教諭・学校栄養職員」研修会を開催！ (財)愛媛県学校給食会

(財)愛媛県学校給食会では、学校給食における食育推進などの知識の習得、調理の理論・技術を学ぶ、研修会を開催しています。本年度は33名の栄養教諭・学校栄養職員が参加しました。

平成22年11月24日(水)、学校給食センターにおいて、愛媛県教育委員会・愛南町・魚食普及推進「協働化」プロジェクト・愛媛農政事務所と連携し開催しました。

当日は、愛媛農政事務所から「よくわかる食品と環境」と題し「日本は世界中から食品を輸入しているにもかかわらず、その多くが廃棄されている」など『食品ロス』について説明があり、続いて、シーフードジュニアマイスターの愛南町担当者から「県産水産物を活かした学校給食とぎょしょく(魚食)教育」の活動報告や「愛媛県は鯛の養殖日本一、野菜や果物と同様に地元魚の給食利用や地産地消に取り組んで欲しい」などの話がありました。

昼食では宇和島市遊子(ゆす)漁協女性部の方による郷土料理「鯛めし」・「真珠貝の貝柱入り潮汁」の試食がありました。



(新鮮な鯛のお造り)

午後からの調理実習では「おさかなママさん・遊子漁協女性部」の指導で「真鯛のから揚げ・鯛のお造り・鯖のみそ煮」などを調理し試食しました。

その後「学校給食と食育」についてグループワークを行い「食事の大切さを家庭で考えて頂くと、給食を調理する現場でも食育に取り組やすい」、「農業体験を通じ食べ物ができる過程を知っている児童と知らない児童とでは、給食を残す量に違いがある」、「地産地消・体験学習・食生活など幅広い取組が食育と言われている、何をどう進めていくのが整理が必要」の意見が出るなど、有意義な一日となりました。

(財)愛媛県学校給食会

魚食マスコットの  
“ぎょレンジャー”が  
登場し魚食をPR!



愛南ぎょレンジャー  
タイレッド

## INFORMATION

NPO法人ALIVE LAB(アライブラボ)さんの取組を紹介します!

### その1

徳島市農林水産課 × NPO法人ALIVE LAB(アライブラボ)が協働で企画・制作を行った、とくしまの食育ポータルサイト「わが家で食育」(<http://wagaya-shokuiku.jp/>)を開設しました。  
(平成22年度徳島市協働支援事業)

家にいながらにして様々な“とくしまの食・食育・地産地消などの情報”をお届けするコンセプトで、とくしまの食育活動や食関連イベント情報、他県に誇れる立派なとくしまの特産品等の地産地消情報が満載のサイトです。

### その2

多くの方に「“食べる”ということ」、「おいしい“とくしま”」、「健康づくり」をもっともっと身近に楽しく知って頂きたいと考えています。ブログで「旬で楽しい食育・地産地消情報」等を、とくしまの皆さんへお届けしています。

<http://blog.livedoor.jp/wagashoku/>

## “お米を使った”かんたん朝食献立コンクールを開催！ (財)鳥取県学校給食会

平成22年12月19日(日)、倉吉市の「伯耆しあわせの郷」において  
“お米を使った”かんたん朝食献立コンクールを開催しました。

「“お米を使った”かんたん朝食献立コンクール」は「日本型食生活」と「朝食の果たす役割」について考えてもらえるようにと、取り組み始めてから今年で6回目となります。

書類選考である第一次審査には、鳥取県下の小・中学生59組の応募があり、そのなかで第二次審査に5組が選出されました。

小学1年生から中学3年生までが参加した第二次審査は、いずれも食材をより生かす工夫がされた素晴らしい献立でした。家庭菜園でとれた野菜や地元食材を持参し、慣れた手つきで我が家の定番メニューを披露してくれたペアもありました。

参加者は「楽しく調理できたし、他の班の料理を食べることができてよかった。おいしかった。」と笑顔で話してくれました。

( (財)鳥取県学校給食会 )



(入賞ペアの表彰式)

### 最優秀賞

とろろドリア・しじみと冬野菜スープ・大根と人参のかりかりサラダ・キウイヨーグルト(自家製ブルーベリーソース添え)



入賞作品の写真・レシピは学校給食会HPでご覧頂けます。 <http://www.togk.or.jp/>

## 「徳島大学の学生との食育に関する意見交換会」を開催！

平成22年11月14日(日)、徳島大学食育サークル「CAERUの会」・「えんたのれんこん推進会議」・農政局で、「食の大切さを農業とともに考えよう！」をテーマに意見交換会を開催しました。

「えんたのれんこん推進会議」のほ場(徳島県鳴門市大津町)で、れんこんの収穫体験を行い、午後からは、徳大生・生産者・農政局の総勢17名で「食と農」についての意見交換を行いました。

### 【えんたのれんこん推進会議】

- ・こどもの成長期での大事な段階で正しい味覚を教えるべき。自然の味(素材の味)を伝えるべき。
- ・親と子どもと一緒に収穫をして、その素材を食べることが重要。
- ・遊びから入った食育が大事。自分たちの負担になったら苦しいので、開催する側も楽しくやりたい。

### 【CAERUの会】

- ・生産者の方の意見を知るための機会を増やしたい。
- ・食育を普及するためには知識だけではなく、自分の体験がないと分かってもらえないので、良い体験となった。

### 【農政局】

- ・これからも「食と農」について皆さんと一緒に考えていきたい。この様な取組の輪を広げるため農政局もコーディネイト役を務めたい。



(泥だらけ、汗まみれになりながら一般参加者の方と一緒に「れんこん」を掘りました。)



お知らせ 次号は7月頃に発行予定。会員の皆様の活動報告など原稿を募集しています。

【編集】中国四国農政局 消費・安全部 消費生活課(中国四国食育ネットワーク事務局)

〒700-8532 岡山市北区下石井1-4-1(岡山第2合同庁舎) TEL (086)224-4511(内線2313)

<農政局HP食育ひろば> <http://www.maff.go.jp/chushi/syokui/index.html>

<食育ネットワークのメルマガ>(登録はこちら) <http://www.maff.go.jp/chushi/mail/index.html>